

教 地誌学概論Ⅱ

□地誌学概論

Introduction to Topography II

IKESHITA Makoto

池下 誠

科目ナンバリング：DEC-2-346-10/DIB-2-431-10/DIS-1-351-10/DLP-2-349-10

■授業の目的及び到達目標

この授業では、将来、中学・高校の教員を担う学生を想定して、世界諸地域の自然環境や歴史的背景・文化を知り、グローバル化に対応できる基礎的知識・技能を身に付けることを目的とする。

動態地誌的、比較地誌的な学習を通して、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせた学習を通して、持続可能な社会づくりに参画できる資質・能力を育成することを目標とする。

■授業計画

- 1 ヨーロッパ・ロシアI
ヨーロッパの地形と気候。ヨーロッパの民族・宗教・言語、EU 統合の背景。
- 2 ヨーロッパ・ロシアII
EU 統合のメリットとデメリット。ヨーロッパの農業と工業。
- 3 ヨーロッパ・ロシアIII
ロシアとその周辺諸国（ソビエト連邦の成立と崩壊、自然環境、ロシア連邦の産業）。
- 4 ヨーロッパ・ロシアIV
ウクライナ。ベラルーシ。バルト3国。中央アジアの国々。カフカス3国。モルドバ。ロシアのウクライナ侵攻。
- 5 アングロアメリカI
アングロアメリカの地形と気候。アメリカ合衆国の自然環境とあゆみ。
- 6 アメリカ合衆国
多民族国家（WASP とヒスパニック）。世界の食料庫、サンベルトの形成、多国籍企業。
- 7 カナダ
広い国土と多文化主義国家。カナダの先住民。
- 8 ラテンアメリカI
ラテンアメリカの地形と気候。メキシコ合衆国。
- 9 ラテンアメリカII
ブラジルにおける熱帯林の開発と保全。アンデス山中の高山都市（インカ帝国、高山都市、アンデスでの暮らし）。
- 10 オセアニア・ハワイI
オーストラリア、豊富な鉱産資源と輸出、アボリジニの生活、白豪主義から多文化社会。
- 11 オセアニア・ハワイII
ニュージーランド 地形の特徴、気候と産業、マオリの生活。
- 12 オセアニア・ハワイIII
フィジー系住民の生活と文化、ハワイ（地形と気候の多様性、歴史と開発）。
- 13 後期試験
後期試験及びフィードバックとしての解説

■授業の方法

資料を書画カメラやPC を使用しながら、各回のプリント演習をベースに授業を進めていく。地図や景観写真などの資料を中心に、「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習を行う。メンタルマップの作成や作業学習で自発的な学習展開を行う。

■予習・復習

日頃から、世界や日本の政治、経済、文化等に興味・関心を持ち、ニュース等に接するようにする。国内、海外など積極的に旅行に出かけたり、地図を見たり、旅番組を視聴したりするよう心がける。知識・技能、思考・判断等を求めるプリントを授業で配布する。地域の地誌を学ぶうえで重要な基礎的知識については小テストで確認していく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

作業プリントの取り組み状況とレポートの評価（30%）に入れる。メンタルマップやリアクションペーパーの評価（20%）。後期テストの評価（50%）。

■教科書・参考書

教科書 高等学校『新地理総合』（帝国書院）、『社会科 中学生の地理』（帝国書院）

地図帳 新詳高等地図（帝国書院）、『ワークシートで見る全単元・全時間のすべて』池下誠編著（東洋館出版社）

■関連する科目

自然地理学